〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4F (タワー111) TEL (076) 444-2500 FAX (076) 444-2600 E-mail: tic@tic-toyama.or.jp URL: http://www.tic-toyama.or.jp

(公財)とやま国際センター



日本海学シンポジウム

平成31年2月11日、北日本新聞ホールにて「美しい富山湾を考える-景観と暮らし-」 と題し、シンポジウムを開催しました。

"日本海学シンポジウム"

「美しい富山湾を考える-景観と暮らし-」

日時: 平成31年2月11日(月·祝)13:30~16:30

場所:北日本新聞ホール

基調報告:「富山湾から考える観光資源としての日本の海浜」

講師 西山 徳明氏

(北海道大学観光学高等研究センター センター長/教授)

パネルディスカッション:

「日本海の海と観光を語る」

モデレーター 秋道 智彌 氏(山梨県富士山世界遺産センター所長、日本海学推進機構会長)

パネリスト 西山 徳明 氏(北海道大学観光学高等研究センター センター長/教授)

清野 聡子氏(九州大学工学研究院環境社会部門 准教授)

中井 精一氏(富山大学人文学部教授)

今回で20回目を迎えた日本海学シンポジウムでは、約150名の参加者が集まり、北海道大学観光学高等研究センター センター長・教授の西山徳明氏による基調講演、日本海学推進機構会長の秋道智彌氏のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。このシンポジウムでは、海の観光について、自然・環境・地域の連関を踏まえてその価値を考え、観光振興、地域活性化や持続可能性について理解を深めました。

国際交流ひろば

日 時:平成31年3月9日(土) 14:00~16:00

場所:環日本海交流会館

講師:シャーホフ・スタニスラフ氏

参加者:13名

当センターでは今年度も各国国際交流員による「交際交流ひろば」を実施しました。今回は最終回として「ロシアのクレーブ週間」と題し、富山県国際交流員のシャーホフ・スタニスラフさんよりご講演いただきました。



「クレープ週間」の由来は、春の訪れを祝うロシアの「マースレニツァ」というお祭りからきています。丸くて黄色いクレープは太陽の象徴とされ、お祭りの間、1週間かけてクレープを食べるそうです。各家庭によってクレープの味つけや薄さ、焼き加減なども違うといったお話も伺いました。講義の後には、ひき肉やサワークリーム、はちみつ等をトッピングしたシャーホフさんお手製クレープを皆で試食。素朴で優しい味わいに皆太陽のような笑顔を浮かべ、一足早い春の訪れを楽しみました。

国際交流員より離任のご挨拶!

孫 肖 さん (中国)

皆さん、こんにちは!中国の遼寧省から参りました孫肖(ソン・ショウ)と申します。2017年4月から国際交流員として富山県でお仕事させていただいたことを非常にうれしく思っております。

2年間という短い間でしたが、素晴らしい方々に支えられ 気持ちよく務めることができました。通訳、翻訳のお仕事以 外に、中国語語学講座、防災ラジオ、JET世界まつりなどを 担当しており、いろんな舞台で活躍をさせていただきました。 昨年5月の「第三回日中知事省長フォーラム」、8月の石井知 事の遼寧省訪問をはじめ重要な行事も多かったですが、随行 や通訳業務において全力を尽くしました。大変いい勉強と経



左端が孫さん

験になりました。故郷で行った県民向け交流イベントの時、会場に来てくれた母親と一緒に撮った写真は 知事ブログにも載せていただき、とても光栄だと感謝しております。

富山にいる間にお世話になったご恩は一生懸命に活動することを通して、少しでもお返ししようと思います。これからも感謝の気持ちを持って、国際交流活動などを通して、富山を愛する人を励ましていけたらと思います。

富山で国際交流員の仕事が終わっても、この縁は消えたりはしないでしょう。いつかまた、お会いしましょう。

孫 為珊 さん (中国)



ダガホー!(皆さんこんにちは!)中国国際交流員の孫 為珊(ソン・イサン)と申します。一年前富山に来たばか りの時は、小雨が降り、自分の出身地上海と同じような春 の雰囲気を感じさせました。

私はこれまで日本での留学や生活の経験が全然なく、今回初めて上海以外の都市に住むので、来たばかりの時は少し不安でした。でも、ほかの職員や国際交流員がいろいろ手伝ってくれたり、おいしいものを紹介してくれたり、綺麗な場所に連れて行ってくれたりして、だんだんと富山の

生活になれてきました。

一年は非常に短く感じますが、国際交流員として、翻訳・通訳、中国語講座、国際理解出前講座、JET 世界まつりなど様々な業務に取り組んできました。前の仕事と全然違う業務なので、私にとっては大きなチャレンジでしたが、様々な経験をすることができ、自分も成長しました。この一年は人生の中で貴重な経験だと思います。

富山を離れても、引き続き富山と上海の懸け橋となりたいです。富山の皆さん、この一年間、お世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

日本海学を学ぶ講座

日本海学研究グループ支援事業研究成果発表会

日時:6月15日(土) 9:30~12:00

場所:県民会館702号室

日本海学に関する研究・普及活動に対し平成30年度に助成を受けた5グ

ループによる合同の成果発表会です。

日本海シンポジウム ~富山湾から探る未来の海~

日時:2月15日(土) 13:30~16:30

場所:北日本新聞ホール

講師: 桜井 泰憲 氏(北海道大学 名誉教授/函館頭足類科学研究所 所長)

日本海学講座

第1回 「北陸の工芸さまざま-新潟・富山・石川・福井」

日時:7月6日(土) 14:00~15:30

場所:県民会館401号室

講師:大熊 敏之 氏(日本大学芸術学部美術学科 教授)

第2回 「近代日本における日本海沿岸地域の産業化と日本海海運」

日時:8月31日(土) 14:00~15:30

場所:県民会館401号室

講師:中西 聡 氏(慶應義塾大学経済学部 教授)

第3回 「富山売薬の薬-江戸時代を中心に」

日時:11月30日(土) 14:00~15:30

場所:県民会館611号室

講師:兼子 心 氏(富山市売薬資料館 学芸員)

第4回 「変わりゆく? 富山湾のさかなたち!」

日時:1月11日(土) 14:00~15:30

場所:高岡市生涯学習センター 研修室503(ウィングウィング高岡内)

講師:稲村 修氏(魚津水族館館長)

富山湾の魅力体験親子教室

*小学生3年生以上:中学生親子対象

日時:8月3日(土)、4日(日)

場所:富山海上

(富山高等専門学校実習船"若潮丸"に乗船)



【お申込み・お問合せ】

〒930-8501 (住所記載は不要です)

日本海学推進機構(富山県観光振興室内)

TEL 076-444-3339

FAX 076-444-4404

E-mail adm@nihonkaigaku.org

URL http://www.nihonkaigaku.org/

多文化共生講座

外国人のための日本語ボランテ

日時:8月~10月頃 全5回 場所:砺波市、入善町

日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門

日本語ボランティアスキルアッ

県内各日本語教室のボランティア 会を開催します。

日本語ボランティアの研修会等

地域の日本語教室で活動している 庁等が行う研修会に参加する場合に、

外国語の絵本よみきかせ親子の

日時:第2土曜日 10:00~11:00

場所:環日本海交流会館

外国語の絵本の読み聞かせを通し 本人親子が異文化を楽しむ講座です。

平成31年度の(公)の事業をご紹介しま

今年度も、国際理解、国際交流様々な事業を展開していきたい詳しい事業内容については(2をご覧ください。皆さんの参加

外国語・外国文化を学ぶ講

国際理解出前講座

地域の国際交流協会や、小中高校、 際協力等に関する出前講座を行います。

ナマステ・インディア

日時:第2、第4月曜日 18:30~2 場所:(公財)とやま国際センター 談 富山県国際交流員と、インドの文化

とやま国際塾

日時:7月14日(日)~15日(祝)

場所: 呉羽青少年自然の家

高校生を対象に、国際交流員、海外協力、多文化共生について考えるセミ

国際交流ひろば

各国からの国際交流員を講師に異文

ィア養成講座

アドバイザーを派遣します。

プ研修会

等のスキルアップや情報交換を目的とした研修

参加費用の支援

日本語ボランティアが、自己研鑽のために文化 その参加費用の一部を助成します。

•

つ 全12回 (*7~10月は第1土曜)

て、外国人親子が母国の文化に親しんだり、日

災害時外国人支援ボランティアの養成

災害時に外国人を支援するボランティアを養成するため、多言語や、やさしい日本語による情報提供の研修を行います。

市町村担当者向け災害時外国人基礎研修

災害時多言語支援センターや避難所の設置・運営に係る基礎研修とやさしい日本語研修を行います。

防災訓練への参加

大規模災害を想定して石川県、福井県と連携した災害ボランティア研修を行うとともに、富山県総合防災訓練にも参加します。

外国人のための防災講習会

万一の災害時に、県内在住の外国人が迅速かつ適切に対応して行動できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講義とワークショップを行います。

アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン地域の国々の文化・生活習慣等を紹介する講座を開催します。

日時:10~11月頃

財)とやま国際センター ます!!

、国際協力及び多文化共生の促進のため、 と考えています。

公財)とやま国際センターのホームページをお待ちしております。

"富山県外国人ワンストップ相談センター"オープン!!

外国人住民の生活に関する各種相談に、一元的かつ迅速に対応することを目指した外国人ワンストップ相談センターを(公財)とやま国際センターに開設(6月頃)します。

平日日中は3か国語で 常時対応します!

0

極

大学などに出向き、国際交流・国際理解・国 け。

20:00

話室

とや習慣などについて理解を深める講座です。

泊2日

N技術研修員、留学生等との交流を通じて国際 ミナーです。

化理解等に関する講座を行います。

語学講座

講座名	開催期間	曜日	定員
英語(初級)	5月22日~3月4日	水	40名
中国語(入門)	5月20日~3月2日	月	30名
中国語(初級)	5月23日~3月5日	木	30名
中国語(中級)	5月21日~3月3日	火	30名
韓国語(入門)	5月23日~3月5日	木	40名
韓国語(初級)	5月20日~3月2日	月	40名
ロシア語(入門)	5月21日~3月3日	火	15名
ポルトガル語(初級)	5月22日~3月4日	水	15名

日 時:上記の期間の18:30~20:00 年間30回

場 所:(公財)とやま国際センター研修室 受講料:10,000円(テキスト代別)

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2018」表彰

富山では6名が個人賞、4校が学校賞を受賞!

「世界の幸せのために私たちができること」をテーマにエッセイを執筆

本コンテストは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や、開発途上国と日本の関係につい て理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的とし て実施しています。2018年度は中学生の部は23回、高校生の部は57回を数え、中学生の部37,748点、高校生の 部34,738点、総数72,486点ものご応募をいただきました。

- ◆本コンテストは、来年度も開催を予定しております。皆さんのご応募をお待ちしております。
- ◆エッセイコンテストの募集詳細、過去の受賞作品は「JICA地球ひろば | ウェブサイトでもご覧になれます。 https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html

作

特別学校賞

学 校 賞



北陸センター所長賞受賞の松田さん (富山国際大学付属高)

受賞された皆さん、おめでとうございます!

北陸センター所長賞 富山市立堀川中学校

> 富山市立南部中学校 富山国際大学付属高等学校 砂

富山国際大学付属高等学校 古 川 青年海外隊富山県OB会長賞 富山県立伏木高等学校

> 富山県立伏木高等学校 富山市立南部中学校 富山県立大門高等学校

富山国際大学付属高等学校

中村望愛さん 富山国際大学付属高等学校 松 田 穂乃佳 さん

悟 道 翔太郎 さん 綾 乃 さん 陽 さん

高橋 蘭 さん

2019年度教師海外研修参加者募集中! 百聞は一見に如かず!! 五感を使って学ぶ実体験型プログラム

- ◆訪問国:サモア独立国
- 象:北陸3県の学校教員でこれまでJICAから海外に派遣された経験のない方
- ◆応募締切:2019年5月10日(金)必着
- ▶プログラムの詳細・応募書類のダウンロード・過去の参加者の報告書などは「JICA北陸」の ウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.jica.go.jp/hokuriku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html





JICAボランティアからの現地リポー

今回はザンビアから届いた青年海外協力隊員 真岩 亜里沙 さんからのお便りをご紹介します。

アフリカ大陸の真ん中に位置するザンビアと日本との時差は7時間。 任地のチルンドとジンバブエとの国境に架けられているチルンド橋は日 本の無償資金協力で建てられたもので、村人たちはとても親日家です。 未舗装の道に木製の電柱が並び、子供たちは追いかけっこに夢中、木陰 で大人たちはお喋りをしながら一休み。穏やかに時間が過ぎる田舎の風 景は、どこか懐かしく落ち着ける場所です。

私は家政・生活改善という職種で派遣され、村の女性達の栄養改善と 収入向上支援を主な柱として活動しています。全て手作業で行う農業は 日本では体験できないこと。全てが新鮮で毎日が勉強です。主食のトウ モロコシの数倍の価格で取引される米は、どの農家も栽培に関心があり、 村の川を利用した稲作を試験的に行い、収入向上を計画しています。村 のクリニックでは幼児と妊婦の定期健診のお手伝いをさせて貰っていま す。栄養素や摂取量の知識不足から幼児の成長不良が目立つので、栄養 士と協力して妊婦と幼児の栄養改善を行う予定です。予定通り事が捗ら ないことが多く焦ることもありますが、人々の生活の懸け橋になれるよ う活動を続けていきたいです。



真岩 亜里沙さん

派 遣 国:ザンビア 種:家政·生活改善

派遣期間:2018年4月~2020年4月 配属 先:ルサカ州農業事務所 (チルンド群農業事務所)

Voices from the world

~中国 大連市~

世界の富山ファンからのメッセージ

- Q. 今、どんなお仕事をされていますか?
- A. 中国大連交通大学の賈素平と申します。よろしくお願いします。今、大学の人文学部で、高齢者施設管理とマネージメント、高齢者ソーシャルワーカー、コミュニティーマネジメント、高齢者法策の授業を担当しています。

大学での仕事のほか、社会活動にも参加しています。現在、中国社会福祉協会高齢者プロジェクト審査員、遼寧省シルバー産業委員会副主任を務めているほか、施設運営管理や人材育成、リスク管理等の実務の面でも頑張っています。



- Q. 近況について教えてください。
- A. 近年、日中間では高齢者介護企業の交流や合作進出事業の件数が増えてきています。日本の雑誌『文藝春秋』から「世界の死に方と看取り一中国」をテーマに取材を受けました。日本の雑誌『日中経協ジャーナル』に「中国の高齢者介護人材育成市場の現状と日系企業参入のポイントという論文を投稿しました。また、広島大学マネジメント学会で「中国介護企業に参入している日系企業の現状と問題」と題して講座を開きました。

現在、全国を回って介護施設長に対し、施設管理運営、現場組織作り、管理職及び現場スタッフの育成、介護施設における事故やリスク回避等の専門分野の教育研修を行なっています。またテレビ出演や研修講座及びインタビューなども国内外で数多く行うと同時に、日系企業と一緒に中国デベロッパーや介護施設への経営コンサルティングもしております。日中高齢者介護事業、人材育成において、両国の架け橋になれればと思っております。

- Q. 富山とはどんな結びつきがありますか?
- A. 1980年代、私の故郷錦州市と高岡市とが友好都市を結び、両市の友好交流の仕事に携わっていましたが、1996年 留学生として富山大学大学院経済学研究科に留学し、高齢者福祉政策を専攻しました。修士課程を修了し富山で就職 しました。2006年アカシアの町ー大連に帰りました。富山はとても静かな町ですし、お水と空気も綺麗です。霊山



の立山、特産の白エビ、砺波のチューリップフェア、井波の彫刻、高岡の瑞龍寺、 氷見のきときとなぶり、魚津の蜃気楼等(一度も見たことがありませんが)たび たび夢の中にも出てきます。

- Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。
- A. 富山県に滞在している長い間、たくさんの友人の皆様からお世話になりました。今も感謝の気持ちでいっぱいです。時や時代がどんなに流れ過ぎても、富山の友人、富山の町の姿、富山の香り、富山の風景を忘れることが出来ません。微力ではありますが、第二の故郷-富山の振興・発展に寄与し、恩返ししたいと思います。どうかよろしくお願いします。

平成31年度草の根国際活動助成事業募集中!!

県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成します。

【助成対象事業】

- 1. 国際交流事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円
 - ○異文化交流、異文化理解の増進に資する事業(例:国際交流フェスティバル、各種異文化交流・紹介事業)
 - ○スポーツ·芸術·学術などの国際交流促進に関する事業(例:スポーツ大会、写真展、 絵画展、演奏会、映画上映会、学術講演会)
- 2. 国際協力事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円
 - ○国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害などへの支援事業(例:災害救援チャリティーコンサート)
 - ○開発途上国への援助・協力支援事業 (例:子ども達のための絵本プロジェクト)
 - ○国際協力に関する県民の理解を深めるための事業 (例:国際協力に関する講座など)
- 3. 多文化共生事業は助成対象経費の原則4分の3以内で上限は20万円
 - ○県内在住外国人支援事業(例:日本語教室、外国にルーツを持つ子供の学習支援など)

│ 申請期限は5月11日 │ までです!



ミャンマー出身 キュウ キュウ

キュウ キュウ ティンさん お薦め料理!

Name of the state of the state

世界の大部分では、お茶といえば飲み物ということになりますが、ミャンマーには食べるお茶と飲むお茶と両方のお茶文化があります。ラペット(ミャンマー茶葉サラダ)はミャンマー全土で作られている人気料理の一つです。漬物茶葉は日本では売っていませんので、乾燥茶葉を漬物茶葉にするところから作り方を説明したいと思います。

~作り方~

- 1. 茶葉をティーポットか大きなコップに入れ、お湯を注ぎ、約3分間浸します。
- 2. お湯を捨て、茶葉から余分な水分を絞り取ります。
- 3. 茶葉をガラスのボウルに入れふたをして室温で3日間置きます。
- 4.3日後、その茶葉(ラペソー)をニンニク、ショウガ、トウガラシ、ライム 汁、塩とともにフードプロセッサーに入れます。フー ドプロセッサーで混ぜながら、サラダ油を加えてい
- 5. これを瓶に入れ、しっかりとふたをし冷蔵庫に3日間置きます。こうすることによって、茶葉を他の食材にしっかり漬け込んで、より風味を加えることができます。
- 6. お皿に茶葉の漬物、トマトのスライス、千切りキャベツ、揚げエンドウ豆、ローストピーナッツ、ゴマ、ショウガ、ニンニクを盛り付けます。
- ※ドレッシングは、油をベースに(通常はピーナッツ油)、少量の魚醤油とレモン汁を組み合わせ、塩と味の素をほんの少し入れます。

~材料~

「き物な笹のお料」

人人を表の方と
乾燥緑茶 大さじ4
ニンニク 4片
トウガラシ 小さじ1/4
ライム汁 小さじ2
ショウガ、塩 少々
サラダ油 2/3カップ

【サラダ】

├ ₹ ├	2個
キャベツ 1	/4個
揚げエンドウ豆	適量
ローストピーナッツ	適量
ゴマ、ショウガ、ニンニク	、塩、
味の素、レモン汁	適量
サラダ油等々	

TICからのお知らせ

TICメールマガジン配信します!

とやま国際センターから、定期的にお届けする "TIC メールマガジン"。6カ国語(日本語・英語・中国語・ポルトガル語・ロシア語・韓国語)で配信するパソコン、スマートフォン向けのメール情報サービスです。

とやま国際センターの主催イベントや講座の最新情報はもちろん、外国人向けの相談窓口のご案内など暮らしに役立つ生活情報、災害についての備え、緊急時の対処法などの防災情報、また、県内のイベント情報など楽しい内容を盛り込んでご案内しています!

ご興味をお持ちの方は、ぜひ "TICメールマガジン" にご登録ください。

メールマガジンの配信をご希望される方は、とやま国際センターのホームページから無料で簡単にご登録いただけます。

URL: http://www.tic-toyama.or.jp/

電話通訳サポート

外国人の方が直接専門機関との相談をご希望される場合、電話通訳サポートをご利用できます。三者通話機を 使い相談員が通訳をします。

電話通訳サポート専用ダイヤル 076-441-5654



環日本海交流会館 図書新着情報!!

「似ている日本語」

「どんどんつながる漢字練習帳」

「はじめて学ぶ介護の日本語」

「5か国語でわかる介護用語集」

「TOEIC L&R テスト990点攻略 改訂版」

「TOEFL テスト英単語3800」

[Of Thee I sing: A Letter to My Daughters]

[The Day Jimmy's Boa Ate the Wash]

「Hooray for Fish!」など

日本語教材、外国語絵本など多数そろえています。

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円 団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、ご寄付についてもよろしくお願い申し上げます。ご協力頂ける方は、是非センターまでご連絡ください。